

第9回沼津市議会定例会

一 般 質 問

＊ 一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を1回目に行い、答弁に対する再質問として2回目及び3回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って1回目から、全で一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：1回目は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う。

令和7年6月16日、17日、18日

令和7年6月16日（月）午前10時から			
順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	19番 片岡章一 ＊一括方式	1 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について (1) 活用状況及び効果と今後の考え方 2 空き家対策について (1) 現状認識と実態調査の結果 (2) 行政指導等の実施状況 (3) 空き家バンクに対する現状認識 (4) 法改正を踏まえた対策の強化 (5) 相談窓口の強化 (6) 官民連携の推進 (7) 空き家を活用した定住促進 3 サンウェルぬまづの利便性の向上について (1) 現状認識 (2) 利用者に寄り添う具体的な対応 (3) 地域福祉と健康づくりの拠点施設としての利活用	市長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	9 番 小 泉 宣 子 *一括方式	1 共生社会を実現するための高齢者支援について (1) 認知症施策の推進 ① 認知症への理解を深めるための普及・啓発 ア 認知症サポーターの養成とチームオレンジ 設置に向けたこれまでの取組の効果と課題 イ 相談先を周知する取組 ② 認知症介護者への支援 ア 認知症地域支援推進員の配置による効果と 課題 イ 認知症初期集中支援チームの配置による効 果と課題 ウ 負担軽減に対する取組による効果と課題 ③ 優しさを伝えるケア技法「ユマニチュード」 に対する認識 (2) 難聴者への支援 ① 補聴器購入費等助成事業のこれまでの実績と 評価 ② 窓口における支援 ア 軟骨伝導イヤホン導入に対する認識 2 市民の健康を守るための肺炎予防について (1) 高齢者の健康寿命延伸を目指した取組 ① 肺炎死亡者数の今後の見込みに対する所見 ② 肺炎球菌ワクチン、インフルエンザワクチン、 新型コロナワクチン接種に対する公費負担の内 容と接種状況 (2) 市民への感染予防策 ① R S ウイルス感染症の疾患の周知と成人・高 齢者における感染予防に向けた注意喚起 ② R S ウイルスワクチン接種に係る妊産婦及び 高齢者への公費負担に対する認識	市長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
3	4 番 堤 飛 鳥 *一括方式	1 本市における児童生徒の学校健康診断について (1) 実施内容と受診状況 (2) 不登校児童生徒など未受診者への対応 (3) 今後の取組 2 スマートシティのさらなる推進について (1) 沼津市情報化推進・官民データ活用計画の取組 ① オープンデータ化の実績及びその利活用と効果 ② 民間でのオープンデータ利活用を拡大する施策 ③ 今後の情報化推進に対する考え (2) 次のフェーズに向けたX-Tech NUMA ZUの取組 ① 取組の成果と市民の受け止めに対する認識 ② 地元企業・学校及び市民の参画状況 ③ 地方創生人材支援制度を活用しての推進体制強化に対する考え	市長 教 育 長 関 係 部 長

令和7年6月16日（月）午後から

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4	3 番 大 川 敬 太 郎 *一括方式	1 米作と茶業の振興について (1) 本市米作農業の現状に対する認識 (2) 中長期的に見た本市米作農業への支援と方向性 (3) 沼津茶の普及に係るこれまでの取組 (4) 沼津茶の普及に向けた今後の取組 2 富士箱根伊豆国立公園に指定された地域の現状と今後の対応について (1) 本市における富士箱根伊豆国立公園の指定状況と規制内容 (2) 地域区分の見直しに向けたこれまでの取組 (3) 地域区分の見直しに向けた今後の対応	市 長 関 係 部 長
5	6 番 大 草 満 *一括方式	1 市内小中学校の学校健康診断について (1) 学校健康診断実施結果の健康教育への利活用 (2) 個別の対応及び学校健康診断時における個人情報 の取扱い (3) 学校健康診断情報の電子化 2 本市の児童生徒の体力、運動習慣について (1) 児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査の 結果と課題 (2) 体力向上に向けた取組 (3) 遊具・運動器具の安全管理の取組及び今後の学 校の遊具・運動器具の改修、設置 (4) 保護者等への体力・運動能力、運動習慣等調査 結果の周知と改善に向けた啓発	教 育 長 関 係 部 長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
6	23番 渡 部 一 二 実 *一括方式	1 自転車関連の改正道路交通法施行へ向けた中高生・外国人・高齢者等への周知・啓発について (1) これまでの改正道路交通法（自転車関連）の交通ルール遵守状況に対する認識 ① 自転車運転時のヘルメット着用の状況 ② 運転中のながらスマホの状況 ③ 酒気帯び運転及び幫助の状況 ④ その他の状況（遮断踏切立入り、信号無視、逆走、歩道走行、一時不停止、ブレーキ不良、傘差し・イヤホン着用運転、並走禁止違反、二人乗り） ⑤ 自転車運転者講習制度の適用者の状況 (2) 令和8年4月に迫った改正道路交通法（自転車関連）の徹底遵守に向けた対応策 ① 自転車交通ルール徹底に向けた中高生への具体的な対応策 ② 自転車交通ルール徹底に向けた外国人への具体的な対応策 ③ 自転車交通ルール徹底に向けた高齢者等への具体的な対応策 2 本市における名刺管理アプリを活用したスマート化の推進について (1) 業務上で必要な紙の名刺の活用状況・管理状況に対する認識 (2) 個人向け名刺管理アプリの導入状況に対する認識 (3) 法人向け名刺管理アプリ導入による情報共有と事務の効率化	市長 教 育 長 関 係 部 長

令和7年6月17日（火）午前10時から

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
7	26番 高 橋 達 也 *一括方式	1 （公財）沼津市振興公社の在り方 (1) 振興公社の役割と評価 (2) 指定管理者としての在り方の見直し 2 沼津っ子ふれあいセンター「ぼっぼ」の在り方 (1) 本市の子育て支援センターの意義と市民ニーズ (2) 沼津っ子ふれあいセンター「ぼっぼ」の利便性 向上に向けた取組 3 障がい福祉におけるセルフプランの在り方 (1) セルフプランの実施状況の把握と国の方針につ いての認識 (2) 計画相談の導入状況と今後の在り方	市 長 教 育 長 関 係 部 長
8	14番 佐 野 博 一 *一括方式	1 高齢者の居場所づくりについて (1) ひとり暮らし高齢者の社会活動への参加促進 (2) 男性参加者の現状と増加に向けた今後の取組 2 高齢者見守り連絡所について (1) 高齢者見守り連絡所設立の認識 3 本市の民生委員・児童委員の人材確保及び体制強 化について (1) 民生委員・児童委員の充足率の現状 (2) 負担軽減に向けた取組 (3) 活動内容の周知・啓発 (4) 積極的な人材確保策 (5) 民生委員・児童委員の活動を支える体制の強化 策	市 長 関 係 部 長
9	18番 山 下 富 美 子 *複合方式	1 香害及び化学物質過敏症への対応について (1) 教育現場や公共施設の利用に困難を抱えている 方々への認識 (2) 児童生徒、市民の相談などの実態と対応 (3) 周知と健康被害の予防等に向けた取組 2 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律 （女性支援新法）」の推進のための体制について (1) 女性支援新法の意義に対する認識 (2) 本市の支援体制の現状と課題 (3) 女性支援推進に向けた取組 3 子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）について (1) HPVワクチン接種数と副反応との関係 (2) 情報提供の在り方 (3) 子宮頸がん検診状況と取組	市 長 教 育 長 関 係 部 長

令和7年6月17日（火）午後から

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
10	1 番 川 口 慶 * 一問一答	1 南海トラフ巨大地震への本市の備え (1) 被害想定の見直しについて ① 新たな地震モデルに対する本市の認識 ② 現時点における本市の避難計画等の見直しなど、今後に向けた取組 (2) 沼津市地震・津波アクションプランの内容や進捗について ① 地域特性に応じた避難場所の整備 ア 津波避難困難地域の詳細 イ 取組の状況 ② 津波避難施設の夜間視認性の確保 ア 津波避難タワー及び津波避難路への夜間照明の設置状況 イ 津波避難路の維持管理状況 ウ 自治会等による維持管理に対する対応状況 ③ 沿岸地域の地形等を踏まえた海岸堤防等の整備の検討 ア 目標指標における「静岡方式」の内容 イ 目標指標における「地区協議会（7地区）」の内容 ④ 家庭内の地震対策の促進 ア 取組の内容 ⑤ 富士山火山防災対策の強化 ア 富士山噴火及び火山防災対策への認識 イ 富士山火山防災対策への取組と進捗状況 ⑥ 緊急物資の備蓄促進 ア 本市における食料・水の備蓄状況 イ 簡易ベッドの備蓄・整備に対する認識 ⑦ 避難行動要支援者の支援体制の強化 ア 重層的な避難支援計画の整備に対する認識 イ 避難支援個別計画の整備に係る具体的な取組 ウ 福祉避難所に対する支援策 ⑧ 遺体の適切な対応体制の整備 ア 具体的な取組 (3) 高齢者の避難支援について ① 高齢者への情報発信や避難誘導等、避難に向けた支援	市長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 1	2 番 高 橋 秀 子 *一括方式	1 ひとり親家庭の養育費等に関する支援について (1) ひとり親家庭の現状と認識 (2) 現在の支援体制の評価と周知 (3) 離婚時の養育費の取決め状況 (4) 養育費の受給状況 (5) 養育費の取決め及び未払いの養育費確保支援策 2 核兵器廃絶平和都市宣言の周知について (1) 公用車へのラッピング等による宣言の周知	市 長 関 係 部 長
1 2	11番 平 野 謙 *一問一答	1 孤立死の防止について (1) 孤立死の現状に対する認識 ① 本市における現状 ② 原因についての認識 ③ 影響についての認識 ④ 対策の必要性についての認識 (2) 孤立死を防止するための取組 ① 本市の支援体制と具体的な取組 ② 地域包括支援センターの支援体制 ③ 自殺予防の取組との関連 ④ 孤独・孤立対策地域協議会の設置に対する認識 (3) 尊厳ある最期を迎えることに対する認識 ① 安心して人生を終えることの重要性に対する認識 ② 第5次沼津市総合計画等における孤立死防止の位置づけ	市 長 関 係 部 長